

第 135 回「言葉の院外処方箋」

「具眼の士」の種蒔き ～ 『深くて簡明、重くて軽妙、情熱的で冷静』 ～

2022 年 11 月 7 日、新座市立新堀小学校（若林寿校長）での『2022 年度 彩の国教育週間』で保護者参加の公開授業に赴いた。Wife が小学校長を務める CAJ(Christian Academy in Japan)の Librarian(図書館司書)の Jamie Lath 先生による 1 年生の授業『英語の本の読み聞かせ』、2 年生、3 年生の『姿勢を考える授業』（東京有明医療大学准教授 小山浩司先生）も拝聴した。筆者は、5 年生、6 年生向けの『生命を考える授業』の機会が与えられた。生徒の多数の真摯な質問には大いに感動した。保護者も多数参加されていた。また、4 年生の『認知症キッズサポーター養成講座』を担当された西堀・新堀高齢者相談センター職員の方との対談の時も持った。市民公開シンポジウム『向上心のある教育 ～ 新堀小学校モデル ～』の企画の話で、大いに盛り上がった。

2022 年 11 月 9 日は、順天堂大学院修士課程講義(英語)『病理腫瘍病態学概論 Overview of Human Pathology and Oncology』である。今回は【環境因子とがん Environmental cancer】である。10 月 5 日【Cancer がんの定義、自然史と介入】、11 月 2 日【発がん機構総論 Carcinogenesis】を担当し、今回は 3 回目である。【メッセージ：『がん学』には限りがないことをよく知っていて、新しいことにも自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する。『深くて簡明、重くて軽妙、情熱的で冷静』をモットーに、(胆力と品性)をキーワードに、時代の要請感のある授業を目的とする。】

【Course Objectives : 1. To discern global trends while seeing the present through the lens of the past. 2. To understand the theory of cancer from a bird's-eye perspective while both facing reality with ideals and seeking ideals within reality. 3. To sow the seeds of discernment, multifaceted thinking, broad-mindedness, further education, and understanding of the times.】、【到達目標： 1. 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見通せるようになる。 2. 俯瞰的に「がん」の理を理解し「理念を持って現実に向かい、現実の中に理念」を問う人材となる。 3. 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む「具眼の士」の種蒔く人材となる。】と謳われている。